3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　造園や植物材料の特質及び合理的な造園植栽の施工と管理方法について理解できるよう留意して指導すること。また，プロジェクト学習では観察や実験・実習を通して，科学的かつ創造的に学習を進め，造園植栽に関する実践力が身に付くようにすること。なお，地域の緑地環境の実態や学科の特色等に応じて，適切な題材を選定すること。

イ　〔指導項目〕の(1)については，科目学習の導入として扱うこと。また，(7)については，(1)を踏まえ，(2)から(6)までと並行して，又はそれらを学習した後に扱うこと。

(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　〔指導項目〕の(1)については，農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。

イ　〔指導項目〕の(2)については，住宅庭園，都市公園などの緑地や造園植栽の特色と役割，植栽施工管理の現状と課題，風景の構成要素と植栽，配植のデザインの概要について扱うこと。

ウ　〔指導項目〕の(3)については，植物材料の種類や特性及び育成と，植栽施工や管理の特性を関連付けながら総合的に扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)については，身近な造園空間を題材として，地域的に特色のある植物材料を活(い)かした植栽デザインについて基礎的な内容を扱うこと。

オ　〔指導項目〕の(5)については，樹木の根回し，樹木の移植などの植栽工事技術や芝生，地被，花壇の造成工事に関する基礎的な内容を扱うこと。

カ　〔指導項目〕の(6)については，樹木の整枝剪(せん)定や病害虫の防除，景観に配慮した管理など植栽管理に関する基礎的な内容を扱うこと。

キ　〔指導項目〕の(7)については，造園植栽に関する実践的な活動を行うこと。

第28　測量

1　目　標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，測量に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 測量について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 測量に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 測量について国土保全や環境創造に応用できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 「測量」とプロジェクト学習

ア　測量に関するプロジェクト学習の意義

イ　プロジェクト学習の進め方

(2) 測量の意義と役割

(3) 位置や高さの測量

ア　平板測量

イ　角測量

ウ　トラバース測量

エ　水準測量

オ　基準点測量と衛星測位

(4) 地理空間情報

ア　写真測量の原理

イ　写真測量の利用

ウ　リモートセンシングの原理と種類

エ　リモートセンシングの利用

オ　地理情報システムの原理と役割

カ　地理情報システムの利用

(5) 測量の実践

ア　地形測量

イ　路線測量

ウ　工事測量

エ　河川測量

オ　森林測量

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　農林業の発展や国土保全・環境創造を担う公共測量の身近な事例を通して，測量について理解できるよう留意して指導すること。また，プロ